



インタビュー Interview

輝いている人

ゲートボールの魅力
たくさんの人に伝えたい

ゲートボール競技で2年連続国民体育大会に出場したのが、宮永智美さんだ。所属するチーム「片島GBC」のキャプテンを務め、チームを国民体育大会出場へ導いた。

宮永さんがゲートボールに出会ったのは40代後半ごろ。両親の誘いで初めてスティックを握ると、すぐに夢中になった。次第に大会にも参加し始め、さらにゲートボールに引き込まれていったという。「ルールを覚えたり技術を身に付けたら、始めは難しいと思うことも多かったですが、慣れてくるととても楽しい。頭も使う奥深いスポーツなんですよ」と魅力を語る。

団体競技であるゲートボールでは、個々の技術よりもチームの結束力が重要になる。宮永さんは試合の中で、個人のミスを責めない

こと、うまくいったら一緒に喜ぶことを心掛け、チームの一体感を保っているそうだ。「私たちのチームは、個人の能力は決して高くはない。一人ひとりが信頼し合っただけでプレーすることが、チームとしての強さにつながっていると感じます」と、仲間の大切さを教えてくれた。

現在75歳の宮永さんが、体が動く限り競技を続けていきたいという。「チャンスがあれば再び団体に出場したい。メンバーは高齢化してきているので、新たなメンバー募集にも力を入れる。東公民館でゲートボール講座を行っているので、多くの人に参加してもらえれば」と話す。

これからも楽しみながらレベルアップしていきたいという宮永さん。次の活躍も期待できそうだ。

子ども虐待 SOS サポーター



8月23日に山手公民館で行われた、子ども虐待SOSサポーター養成研修

児童相談所
全国共通ダイヤル
いち はや く
189
番へ

児童虐待に関する相談件数は、全国的に年々増加しています。昨年度総社市に寄せられた相談は73件でした。

子どもを虐待から守るため、子ども虐待SOSサポーター養成研修を開催しています。児童虐待の具体的な内容、地域で見守りを行う上での留意点などについて学び、理解を深めましょう。

【子ども虐待SOSサポーター養成研修】

日時 11月1日(金)、令和2年1月23日(木)。
いずれも、午後2時から

場所 総合福祉センター

虐待は、どこの家庭にも起こり得ます。地域での見守り・連絡・相談が子どもを守り、子育てに悩む保護者を支援する一歩になります。社会全体で子どもを育てていきましょう。

問い合わせ こども課子育て支援係 (☎ 8268)

今月のラッコ広場

市では月に1回、0歳児から就学前の幼児とその保護者を対象に、ラッコ広場を開催し、身体計測や育児相談を行っています。

受付日時 11月5日(火)。1歳から就学前の幼児は午前10時から11時まで、0歳児は午後1時30分から2時30分まで

場所 市保健センター

持参品 親子(母子)健康手帳

問い合わせ こども課母子保健係 (☎ 8261)



来月以降の
日程はこちら

学校給食 おすすめレシピ

大豆とサツマイモの甘辛あえ



●材料(4人分)

- サツマイモ…160g(中1/2本) ●いり大豆…30g
- しょうゆ…大さじ1/2 ●砂糖…大さじ1/2
- みりん…小さじ1 ●揚げ油…適量

●作り方

- ①サツマイモを2cm角に切る。
- ②小鍋にしょうゆ、砂糖、みりんを入れ加熱する。
- ③150℃に熱した油でサツマイモを揚げる。
- ④揚げたサツマイモといり大豆を②であえる。

●その他の献立 五目うどん、牛乳